

！！ Voice 今月は 組織部 です ！！

組織部 下窪義文

今年 5 月に前任の組織部長濱田光國さんが亡くなりました。
あらためてご冥福をお祈りいたします。

故濱田さんは長年にわたり組織部長を歴任されてハイキングセミナー等の会員拡大に取り組んでこられました。本当にご苦労様でした。ここに大阪労山が大きく羽ばたいているのは、濱田さんの活躍が大きかったからだと思っています。
しかしながら、大阪労山の会員数は2001年をピークに減少しつつも、一方では会員数が増えている会もあります。
私も山に入ると組織の事は考えた事はありません、山への要求が一番の目標でした。

今年の組織部は「山仲間の輪」をスローガンに互いの結束を深めていきたい。
会員拡大を議論することも第一、会員数を減らさないことも大事です。
共同テント泊が減り、テント泊での仲間の輪が少なくなっているように思います。
年齢の高齢化、共同テントを担げない、コロナで密はいや、ソロテンがいい、要員がある。

「山仲間の輪」・・・大阪労山には会創設 50 年のクラブが15存在しています。

山への要求に熱意を注ぎ、山仲間を大切にし、互いの意見を尊重し合いながらも熱心に議論し合って半世紀も続いています。

「山仲間の輪」があつてこそ会が継続している。

「参加できる輪」・・・誰もが参加できる役立つ講習、参加できる輪を設けます。

「話合いの輪」・・・各会が抱えている課題についての話合いの輪を設けます。

「交流の輪」・・・各会と交流を深めるための交流の輪を設けます。

「百名山の輪」・・・会では取り組めない山行として誰もが参加できる百名山の輪を設けます。

「支援の輪」・・・2024年1月の能登半島地震支援活動で結び合う支援の輪を設けます。

輪を作り、結び合うことで、各会組織の強化となり、組織の団結で労山全体の活性化になることを広げていきたい。